



2021年10月15日

各位

会社名 ティアンドエス株式会社  
代表者名 代表取締役執行役員社長 武川 義浩  
(コード番号：4055 東証マザーズ)  
問合せ先 取締役執行役員業務本部長 木下 洋  
(TEL. 045-263-8286)

### 通期業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、最近の業績動向を踏まえ2021年1月14日に公表いたしました2021年11月期の通期業績予想(2020年12月1日～2021年11月30日)について下記の通り修正することを決議いたしましたので、お知らせいたします。

#### 記

#### 1. 2021年11月期の業績予想の修正(2020年12月1日～2021年11月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	2,464	322	328	229	61.37
今回修正予想(B)	2,720	405	410	287	77.09
増減額(B-A)	256	83	81	58	—
増減率(%)	10.4	25.8	24.8	25.5	—
(ご参考)前期実績 (2020年11月期)	2,266	304	304	236	71.91

(注) 2020年12月1日を効力発生日として株式1株について2株の割合で株式分割を行っておりますが、前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して前期実績の「1株当たり当期純利益」を算定しております。

#### 2. 修正の理由

主要取引先企業からのシステム受託開発案件の受注が増加しました。特に、ソリューションカテゴリーにおいて、主要取引先であるキオクシア株式会社より、工場内システムの開発に関する大型案件を受注したことや、半導体カテゴリーにおいて、半導体工場の保守・運用サービスに係る派遣エンジニアの増員が順調に進んだことにより、当事業年度の期末にかけて売上高は予想を上回る推移を見せております。また、先進技術ソリューションカテゴリーにおいて、AIアルゴリズム研究開発支援サー

ビスや技術論文調査支援などを中心に AI 関連の受注も増加しております。特に、前期より始まった日本電気株式会社との取引が拡大していることや新規取引先の開拓が進んだことが売上の増加に寄与しております。

この結果、全体の売上高は堅調に推移し、2,720 百万円（前期実績比 20.0%増）となる見通しであります。費用面では、業績連動賞与引当の計上や外形標準課税の発生、中途採用費の増加が見込まれますが、これらの費用を吸収し、営業利益は 405 百万円（同 33.0%増）、経常利益は 410 百万円（同 34.7%増）、当期純利益は 287 百万円（同 21.9%増）となる見通しです。

（注）上記の予想は、本資料の発表日において、入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績等は、今後の様々な要因により、予想数値とは異なる結果となる可能性があります。

以 上